

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価の無いもの……移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっている。

なお、取得価格の5%に達した固定資産については、備忘価格まで減価償却を実施している。

また、ソフトウェアは定額法によっている。

(3) 退職給付引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

2. 基本財産の増減および残高は次の通りである。

1. 基本財産	前年度末残高	当年度増加額	当年度減少額	当年度末残高
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
三菱UFJ信託銀行	130,000,000	0	0	130,000,000
三井住友信託銀行	150,000,000	0	0	150,000,000
三菱UFJ銀行	20,000,000	0	0	20,000,000
計	300,000,000	0	0	300,000,000

3. 特定資産の増減および残高は次の通りである。

1. 特定資産	前年度末残高	当年度増加額	当年度減少額	当年度末残高
退職給付引当預金	4,000,000	2,000,000	0	6,000,000
計	4,000,000	2,000,000	0	6,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次の通りである。

1. 基本財産	当年度末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
定期預金	300,000,000	0	300,000,000	0
三菱UFJ信託銀行	130,000,000	0	130,000,000	0
三井住友信託銀行	150,000,000	0	150,000,000	0
三菱UFJ銀行	20,000,000	0	20,000,000	0
計	300,000,000	0	300,000,000	0
2. 特定資産	当年度末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当預金	6,000,000	0	0	6,000,000
計	6,000,000	0	0	6,000,000

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当年度末残高は次の通りである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当年度末残高
備 品			
ダンロップテント V808	470,400	470,399	1
ビデオカメラ DCRPC1H	200,000	199,999	1
デスクトップパソコン FMVC20SB	230,790	230,789	1
デジタルビデオカメラ NV-MX5000	177,870	177,869	1
デジタルビデオデッキ SONY DSR-45	481,950	481,949	1
MSシュレッダー V122	104,580	104,579	1
32型テレビ	147,000	146,999	1
32型液晶テレビ	127,121	108,207	18,914
備 品 計	1,939,711	1,920,790	18,921
建物付属設備			
事務所内応接間仕切り	472,500	472,499	1
事務所内倉庫間仕切り	147,000	146,999	1
建物付属設備 計	619,500	619,498	2
ソフトウェア			
PCA公益法人会計ソフトV.12 リビジョンアップ版	198,000	0	198,000
ソフトウェア 計	198,000	0	198,000
固定資産合計	2,757,211	2,540,288	216,923